

第5回 総括検討会 議事録

1. 開催日時：平成18年3月15日（水）10：00～12：00

2. 開催場所：航空会館 B101会議室

3. 出席者：（順不同，敬称略）

- 委員：柴田主査（東京大学名誉教授），原副主査（東京理科大学），久保副主査（東京大学），白井幹事（関西電力），石崎（竹中工務店），植田・遠藤（日本原電），金津（電中研），金谷（関西電力），久野（中部電力），清水（大林組），田中（原子力安全基盤機構），中川（日立），中島（東芝），土方（東京電力），吉賀（三菱重工業），森山（大成建設）（計17名）
- 代理出席：兼近（鹿島建設・藪内代理），小川（清水建設・武田代理），八代（東京電力・野田代理）（計3名）
- 欠席委員：秋野（計1名）
- オブザーバ：市園（東電設計），前田（原子力安全委員会事務局），梅木・仲田（中部電力），田中・広谷・平川（東北電力），西村（東京電力），（計8名）
- 事務局：浅井・荒木・福原（日本電気協会）（計2名）

4. 配布資料

- 資料 No.5-1 総括検討会委員名簿（案）
- 資料 No.5-2 第4回総括検討会議事録（案）
- 資料 No.5-3 第11回耐震設計分科会議事録（案）
- 資料 No.5-4-1 JEAG4601 基準地震動関連の改定について
- 資料 No.5-4-2 原子力発電所耐震設計技術指針 第3章 耐震設計で考慮する地震と地震動
- 資料 No.5-4-3 原子力発電所耐震設計技術指針 第4章 地質・地盤調査
- 資料 No.5-5 「女川原子力発電所における宮城県沖の地震時に取得されたデータの分析・評価及び耐震安全性評価について（報告）」の概要
- 参考資料 - 1 第15回基本方針策定タスク議事録（案）
- 参考資料 - 2 学協会規格の技術評価について
- 参考資料 - 3 原子力発電所耐震設計技術指針 基準地震動策定・地質調査編
- 参考資料 - 4 『提案』電気協会における火山に係わる検討の進め方

5. 議事

（1）代理出席者の承認及び前回議事録の確認

- a. 事務局より、本日の委員出席者数は、代理出席者3名を含めて20名であり、規約上、決議に際して求められる委員総数の2/3以上の出席であることが報告された。また代理出席者及びオブザーバの検討会参加について規約に基づき柴田主査の了解を頂いた。

- b. 資料 No.5-2 の前回議事録（案）は、今後 1 週間の期限で各委員に確認頂き、コメント反映したものをもって検討会確認とする扱いで了承された。

(2) 東北電力 女川原子力発電所における宮城県沖地震後の対応について

資料 No.5-5 に基づき、東北電力 田中氏、広谷氏、平川氏より女川 2 号機における耐震安全性評価の概要として、宮城県沖地震（H17.8.16）地震動の評価、及び 宮城県沖地震、想定宮城県沖地震、安全確認地震動に対する女川 2 号機の耐震安全性評価の概要が紹介された。

本件に関する主な意見は以下のとおり。

- a. 発生した地震の応答スペクトルが基準地震動のそれを超えるかの確認手法、及び超えた場合に直ちにシャットダウンするような仕組みを整理する必要がある。本委員会で扱うかどうかは別として、地震後の処理基準を作成する上で今回の事例は参考になる。
- b. 今回の発生応力の記録は解析によるものであり、歪みの実測値に基づくものはない。実測することが望ましいが、応答周波数の高い機器やガタのあるような設備に対して適切な評価が難しいと思われる。一方運転中の振動・温度変化などがあり、実測はかなり難しい課題。

(3) JEAG4601 基準地震動関連の改定について

資料 No.5-4-1 に基づき、白井幹事、久野委員より JEAG4601 改定の方針として、以下の事項が提案され、3 月 31 日開催予定の次回耐震設計分科会に諮ることについて了承された。

提案事項及び議論の概要は以下のとおり。

- a. 原子力安全委員会『発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針』の改訂は、H18 上期の成案が予想されるが、内容は性能規定的であり、指針改訂後の既設発電所の耐震性評価などのツールとして、官民双方に具体的仕様を定めた JEAG4601 改定の必要性が生じている。
- b. 改定 JEAG のうち、特に基準地震動関連の範囲については、実務上、早期策定が必要であるため、審査指針改訂後に『基準地震動関連の範囲に限定した規格』の先行策定を目指すこととする。
- c. 一方、その他評価手法等の規格化については、並行して策定検討を進め、先行策定した『基準地震動関連の範囲に限定した規格』も取り込み、フルパッケージとして平成 18 年度中の策定を目指す。
- d. これより、分科会、検討会開催頻度及びその準備作業はかなり大きくなることについて了解いただきたい。
- e. 審議予定表では、各審議項目において分科会審議とそのコメント対応に配慮したスケジュールを整理する。また、コメント対応等に際しては効率的な対応を目指し、電子データや紙による資料のやりとりを適宜行うこととする。
- f. 審査指針パブコメに際して意見がある場合は、耐震設計分科会での意見提出も視野に入れて検討する。

資料 No.5-4-2, 3 に基づき、久野, 金谷両委員より次回分科会に提案予定のアイテムとして、JEAG4601 改定案第 3 章『耐震設計で考慮する地震と地震動』, 第 4 章『地質・地盤調査』(一部除く)の概要が紹介された。

(4) 火山に関する評価手法の規格化提案について

参考資料 - 4 に基づき、金谷委員より土木構造物検討会提案として、現在 IAEA における火山評価ガイドラインの正式基準化動向に鑑み、国内民間基準である JEAG として、まずは火山に対する原子力発電所の安全性評価のための『火山評価』に関する規格化を行うこと、その後将来的に機械・電気設備への影響評価も考慮した規格化の是非について再検討すること、の 2 点が提案され、次回分科会に諮ることも含めて了承された。

(5) その他

- a. 参考資料 - 1, 2 に基づき、事務局より当協会規格が『原子力発電設備の技術基準』解釈に引用されたが、規制当局より規格に対する要望事項が寄せられ、その対応について、当委員会基本方針タスクで整備された事項が紹介された。
- b. 次回開催日は別途調整。

以 上